

## 船橋市教育委員会会議 9月定例会会議録

1. 日 時 平成27年9月17日(木)  
開 会 午前 10時00分  
閉 会 午前 11時53分
  
2. 場 所 教育委員室
  
3. 出席委員 委 員 長 山 本 雅 章  
委員長職務代理者 鎌 田 元 弘  
委 員 石 坂 展 代  
委 員 佐 藤 秀 樹  
教 育 長 松 本 文 化
  
4. 出席職員 教育次長 古 橋 章 光  
管理部長 原 口 正 人  
学校教育部長 秋 山 孝  
生涯学習部長 佐 藤 宏 男  
学校教育部参事兼学務課長 棚 田 康 夫  
学校教育部参事兼保健体育課長 向 笠 真 司  
生涯学習部参事兼青少年課長 古 畠 秀 昭  
生涯学習部参事兼生涯スポーツ課長 鈴 木 隆  
教育総務課長 度 会 益 己  
指導課長 大 村 尚  
社会教育課長 二 野 史 靖  
文化課長 田久保 里 美  
総合教育センター所長 秋 元 大 輔  
施設課長補佐 金 子 恭 將
  
5. 議 題
  - 第1 前回会議録の承認
  - 第2 議決事項
    - 議案第41号 平成27年度船橋市教育功労表彰について
    - 議案第42号 平成26年度船橋市一般会計決算(教育に関する事務に係る部分)の意見聴取について
    - 議案第43号 船橋市民ギャラリー及び船橋市茶華道センターの指定管理者候補

者の選定について

議案第44号 船橋市総合体育館及び船橋市武道センターの指定管理者候補者の選定について

### 第3 報告事項

- (1) 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (2) 第35回船橋市中学校英語発表会の結果について
- (3) 平成27年度船橋市小・中学校音楽発表会（第37回サマーコンサート）実施報告について
- (4) 平成27年度音楽コンクールの結果について
- (5) 平成27年度船橋市中学校演劇部夏の発表会の結果について
- (6) 平成27年度夏季総合体育大会 全国大会の結果について
- (7) 第51回船橋市中学校総合体育大会 駅伝の部について
- (8) 平成27年度夏季休業中の研修の実施報告について
- (9) 平成27年度第4回算数・数学チャレンジふなばしについて
- (10) 第38回船橋市いけばな展について
- (11) 第53回船橋市美術展覧会「市展」について
- (12) 第2回ふなばしミュージックストリートについて
- (13) 平成27年度学校プール開放事業の実施報告について
- (14) スポーツの祭典について
- (15) その他

### 第4 委員長選挙及び委員長職務代理者の指定

#### 6. 議事の内容

##### 【委員長】

ただいまから、教育委員会会議9月定例会を開会いたします。

はじめに、会議録の承認についてお諮りいたします。

8月3日に開催しました教育委員会会議臨時会及び8月18日に開催しました教育委員会会議8月定例会の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございますが、よろしければ承認したいと思います。

ご異議ございませんか。

##### 【各委員】

異議なし。

##### 【委員長】

異議なしと認めますので、当該会議録について承認いたします。

それでは、議事に入りますが、議案第41号 委員長選挙及び委員長職務代理者の指定については、船橋市教育委員会会議規則第12条第1項第1号に該当し、議案第42号から議案第45号までについては、同規則第12条第1項第4号に該当しますので、非公開としたいと思います。

また、議案第41号及び委員長選挙及び委員長職務代理者の指定については、関係職員以外退席願いますことから、同規則第7条に基づき議事日程の順序を変更し、報告事項(15)の後に繰り下げたいと思います。

ご異議ございませんか。

**【各委員】**

異議なし。

**【委員長】**

異議なしと認めますので、そのようにいたします。

それでは、議事に入ります。

はじめに、議案第42号について、教育総務課、説明をお願いいたします。

議案第42号「平成26年度船橋市一般会計決算（教育に関する事務に係る部分）の意見聴取について」は、教育総務課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

**【委員長】**

続きまして、議案第43号について、文化課、説明をお願いいたします。

議案第43号「船橋市民ギャラリー及び船橋市茶華道センターの指定管理者候補者の選定について」は、文化課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

**【委員長】**

続きまして、議案第44号について、生涯スポーツ課、説明をお願いします。

議案第44号「船橋市総合体育館及び船橋市武道センターの指定管理者候補者の選定について」は、生涯スポーツ課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

**【委員長】**

続きまして、報告事項に入ります。

はじめに報告事項（１）から報告事項（５）までについて、指導課、報告をお願いいたします。

#### 【指導課長】

はじめに「全国学力・学習状況調査について」ご報告いたします。資料本冊の１ページをご覧ください。

今年度は４月２１日に全ての小・中学校で実施いたしました。調査対象は小学校６年生と中学校３年生です。調査内容は記載のとおりです。今回は平成２４年度に続いて理科の調査も行われました。理科につきましては、知識に関する問題と活用に関する問題が一体的に出題されております。各学校の結果は８月２５日に送られております。現在、各学校で結果の分析を行っているところでございます。

本市の結果につきましては各教科とも概ね良好ということです。小学校では国語Ａ・Ｂ、算数のＢ問題がよい結果でした。中学校では国語、数学ともＡ・Ｂ、よい結果となっております。理科につきましては全国、県とほぼ同程度ということでございました。児童・生徒への質問紙調査の結果からは、小学校では国語の勉強が好き、それから中学校では読書が好きな割合が高いという結果でした。昨年同様に地域の行事に参加していると答えている割合については、若干課題が残っているところでございます。

なお序列化や過度の競争につながらないように、平均正答率の数値や学校の順位については公表しないこととしております。

現在、指導課において市の結果の分析中でございます。まとめ次第ご報告いたしまして、学校にもお知らせする予定でございます。報告事項１は以上でございます。

続いて、資料３ページをご覧ください。８月２５日火曜日に開催されました「第３５回船橋市中学校英語発表会」の結果についてご報告いたします。市内中学校２７校の代表者１１８名が参加いたしました。暗唱の部、スピーチの部及び模範演技としての帰国・外国人生徒の部に分かれて参加し、日ごろの練習の成果を発表いたしました。また、今年度も市立船橋高校留学教育コースの生徒さんが、自身の体験をもとにプレゼンテーションを行いました。今回は葛飾中出身の篠原美里佳さんが発表しました。

結果は資料４ページをご覧くださいと思います。一番上の市長賞の欄ですけれども、１年生、葛飾中、円山璃保さん、２年生、旭中、深瀬真理奈さん、３年生、八木が谷中、我妻青依さん、そしてスピーチの部、飯山満中、石井匠さん、この４名が１０月９日の千葉県文化会館で開催されます千葉県中学校英語発表会に出場いたします。

スピーチの部で市長賞をとりました飯山満中学校の石井匠君は、昨年度も県大会暗唱の部に出場しております。今年も活躍が期待されます。今年度は会場を葛飾公民館から中央公民館に移すとともに、運営方法の面でも見直しを行いました。その結果、ゆとりのある会場で効率よく運営することができました。

以上でございます。

続いて資料5ページをご覧ください。今年度第37回になりますサマーコンサートについて報告いたします。日程はご覧のとおりでございます。

例年この時期、夏休みに入ると同時期に開催しております。新しい学年になり学校で練習を積んできた成果を、初めて他の学校や保護者の皆さんに聞いてもらう機会となっております。演奏の後には講師の先生から具体的なアドバイスをいただき、さらによい演奏を目指そうという気持ちを持った子供たちがたくさんいたようでございます。

続きまして、平成27年度、これまでの音楽コンクールの結果についてご報告いたします。資料7ページでございます。今年度も市内の多くの学校が出場し成果を上げております。ここでは県代表になった結果につきまして報告いたします。

まず1番、ギターコンクールの結果でございます。船橋市ではギター部がある学校は中学校2校しかございませんが、毎年努力の結果があらわれております。八木が谷中学校はギター合奏、前原中学校はギターとマンドリンの合奏になります。両校は重奏の部、合奏の部で、次のコンクールに進むこととなります。

2の合唱です。NHK全国学校音楽コンクールでは千葉県大会で3校が入賞しました。県代表として薬円台南小学校が、9月6日に関東甲信越大会に出場し金賞をいただいております。この後10月11日にNHKホールで行われる全国大会に出場し日本一を目指します。船橋市の学校が合唱で全国大会に出場するのは初めてでございます。なお、小学校の合唱部門におきましては、5年連続で市内の小学校が県代表となっております。船橋市の合唱のレベルの高さがうかがえるところでございます。

次は、3、吹奏楽です。吹奏楽コンクールは、部門により全国大会に進める部門や東日本大会まで、または県大会で終わるものなど多岐にわたっております。A部門は全国大会まで通じており、B部門は東日本大会が最終のコンクールとなります。9月13日に高根東小学校と八栄小学校が東関東吹奏楽コンクールに出場しました。高根東小学校は県代表として4年連続の出場でした。その結果、両校とも金賞を受賞し、そのうち高根東小学校は、10月11日に札幌市で開かれる東日本大会へ出場することが決まりました。小学校の部門ではこの東日本大会が最終となります。この後もすばらしい演奏が期待できます。

また、今月5日に行われました東関東吹奏楽コンクールでは、市立船橋高校が銀賞を受賞しました。残念ながら全日本の大会への進出はかないませんでしたが、こちらも大変熱のこもった演奏を披露できたということでございます。

4番、マーチングコンテストの結果でございます。八栄小学校が金賞・教育長賞、法田中学校が金賞・理事長賞、それから市立船橋高校も金賞というすばらしい結果で、東関東マーチングコンテストに進みます。全国大会への出場も期待されるところでございます。

最後に、今後のことについてでございますが、TBSこども音楽コンクールの地区大

会優秀校の中から部門ごとに推薦された学校が、東日本優秀演奏会へ進出をいたします。また、全国学校合奏コンクールが10月中旬に開催されます。委員の皆様にもこれからもよい結果が報告できるとよいと思っております。

コンクールの結果についての報告は以上でございます。

続きまして、資料9ページ、演劇部夏の発表会でございます。平成27年度船橋市中学校演劇部夏の発表会が、7月31日金曜日、8月1日土曜日の両日、船橋市民文化ホールで開催されました。船橋中学校、葛飾中学校、前原中学校の3校が優秀校に選ばれ、8月5日に開催された中学校演劇部県大会に出場しました。その結果、葛飾中は金賞、前原中と船橋中は銀賞でございました。

指導課からの報告は以上でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

#### 【鎌田委員】

報告事項の1つ目ですけれども、学習状況調査のことで、教科に関するところでコメントをいただいていますけれども、地域への行事に参加している割合が低いというご指摘がございましたが、船橋市ではこれからますますふるさと学習というか、ふるさとの愛着心を高めるような方向に行こうと、かじを切ろうとしている方向にあると思うのですけれども、そういう状況の中で、今のところ分析中だということですが、地域の行事に参加している割合が低いということの背景であるとか、逆に言うと、参加している割合が低くても効果が上がっているというようなことであれば、またいいと思うのです。

そこら辺をどう考えたらいいのかということであるとか、例えば教科との関連で言うと、総合的な学習の時間とかは前は充実していたのを大分圧縮しているとか、その辺はどういうふうに捉えて、逆に言うと、どうやってふるさと教育を高めていったらいいか、その方向性、何かお考えのところがありましたら教えてください。

#### 【指導課長】

児童・生徒の質問紙の中で、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問がありまして、これに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という割合を見ますと、小学校も中学校も低くなっております。全国よりも県が低く、県よりも船橋が低いという状況でございました。

似た質問ですが、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という質問があります。これを見ると小学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という割合は、全国、県とほぼ同じでございます。意識についてはそう低くはな

いかなというふうに思っております。

中学校でも若干そこは、国と県が同じくらいで市がちょっと低くなっておるといところなんです、それほどの差はございませんので、そういった関心・意識はあるけれども、具体的に参加の機会が余りないかなというところがあるように思っております。

そういった面で委員からご指摘があったように、ふるさと船橋を愛する気持ちを育てていこうという中で学校が、地域社会やそれから社会教育関連施設などとの連携を強めていくということが、1つは大事なことになるかと思っております。具体的には、これからまたいろいろと検討しながら進めていきたいと思っております。

以上でございます。

**【教育長】**

余り小学生が参加するような地域の行事も少ないのではないかという気がします。田舎では意外とありますよね。お祭りといってもなかなか子供主体というようなものではないでしょうから。子供会に入っている子も今少ない、ということもあると思うのです。

だから、子供たちが参加できる地域の行事を、もうちょっと教育委員会としてもつくてあげないといけない、という気もしますね。

**【委員長】**

そのほか何かご意見、ご質問がありましたら。

私から、毎年言っていることで申しわけないのですけれども、この目的がありますが、これは国が掲げたものをそのまま書いているのですか。

**【指導課長】**

そのとおりです。

**【教育長】**

目的は上の3つだけです。

**【委員長】**

これは国が掲げているのですか。

**【指導課長】**

そうです。

**【委員長】**

これは私見で毎年言っているのですけれども、7番ですが、「過度な競争につながら

ないよう十分配慮する」という「十分」が要らないと、私はいつも言っているのですけれども、「過度な競争につながらないように配慮する」ぐらいの言葉。本当にこれが序列化とか競争とかという言葉に非常に「控えおろう」になってしまうところが、まずいのではないかと私は思います。ですので、別にこれをうたってよいけれども、十分配慮すると、何だか最初からそれが漏れることを怖がっているような感じですので、私はこの文章、「十分」は要らないのではないかと前からずっと言っているのですけれども。

これは学校には配らないのですか。あくまで私見ですが、余りこういう言葉に構えすぎず堂々とやっていただきたいなというふうに思います。

**【教育長】**

これはちょっと書き過ぎかもしれません。

**【委員長】**

これは前から言っています。

**【教育長】**

わかりました。表現を気をつけていきます。

**【委員長】**

あつものに懲りてというか、余りそういう必要はないのではないかというふうに思います。

**【教育長】**

そうですね。わかりました。

**【委員長】**

そのほか何か。

**【石坂委員】**

小学校で家庭において授業の復習をするというものの割合が低いということで書いてありますけれども、そんなに低かったのですか。

**【指導課長】**

小学校の家庭学習ですけれども、全国と比べると約10ポイントぐらい低い状況でございました。



#### 【石坂委員】

宿題があるかないかということもあるかもしれませんが、家でやらなければ、というふうに私は思っていました。去年もこの項目が出ていたようですので、その辺をどうしていったらいいかということになるということですね。

#### 【指導課長】

そのとおりで、去年からずっと継続でございます。千葉県の結果もこの項目は低い傾向がございまして、千葉県でも家庭学習の手引きなどをホームページで案内しております。そういった資料もつくっております。私どもも学校訪問の際にそういった部分について学校にお知らせしまして、普及に努めていただいているところでございます。

それから学校質問紙の中で、学校として家庭学習のあり方について決まった方針でやっているかという部分についても、これも低いものですから、そういった部分についてこれから取り組みが必要であると認識しております。

以上です。

#### 【教育長】

今、校長面接のときにほとんどの校長先生に家庭学習の充実をお願いしています。これは去年からしているのですけれども、学力状況調査の高い福井県や秋田県というのは、家庭学習、予習・復習をきちっとやっているとか、宿題をきちっとやっているということが、かなり学力向上に結びついているというようなデータも出ているので、特に学校の実態にも応じてですけれども、ぜひお願いしたいということは全部の学校に言っています。このところ学校によっては家庭学習ノートというのをつくって、それを毎日担任の先生が点検していますというような学校も、少しずつはふえてきています。

これはただ復習が少ないとか低いとかいうのではなくて、きちっと家庭において授業の復習をしている子はどうかということのデータのほうが、分析をしなければいけないと思うのです。復習している子は高いとかいうようになって、復習していない子は学力が低いとかというような形を、分析をする必要があるのかなと思っています。ただ少ないとか多いではなくて。そうすれば説得力が出てくると思うのです。だから新聞を読んでいる子は学力が高いということと同じような、そういう分析が必要かなと思っています。

#### 【鎌田委員】

こうした復習も、もちろん予習も大事ですけれども、アクティブラーニングで、授業で教えるものをできるだけ絞って主体的な学びを促そうという方向ですよね。そういうものだから事前・事後の学習が大事だというのは、小・中も大学も全く同じですけれども、そもそも論で学習指導要領、大学で言うと学習力と言うのですけれども、こういう

態度や志向性という、そこをどうやったら伸びるのかというのは、非常にある程度生活習慣みたいなどころがあるので、本当に子供と学校というだけではなくて、親御さんだったり地域だったり本当に総合力かなという気がしますので、その辺をぜひ一緒に我々も含めて考えていけたらと思います。

#### 【委員長】

そのほか何かご意見、ご質問等ございませんか。

よろしいですか。

続きまして、報告事項（6）及び報告事項（7）について保健体育課、ご報告をお願いいたします。

#### 【保健体育課長】

それでは、報告事項（6）、8月17日から25日まで、東北地方の各県と北海道を会場として行われました全国中学校体育大会の結果についてご報告いたします。

資料本冊の11ページをご覧ください。まず陸上競技では海神中学校の谷藤千夏さんが、女子800メートルで全国1位になっております。また、女子1,500メートルでは旭中学校の風間歩佳さんが第6位に入賞しております。水泳では七林中学校の山川さんが女子100メートルバタフライで4位、200メートルバタフライで8位に入賞しております。そのほか体操競技では船橋中学校の渡邊向祥君が跳馬で第3位、個人総合で第6位、新体操で飯山満中学校の石井陽向さんがロープで2位、フープで5位、個人総合で第2位と入賞しております。多くの方々の応援、本当にありがとうございました。

続きまして、報告事項（7）、第51回船橋市中学校総合体育大会駅伝の部についてご説明いたします。資料は13ページから32ページまでとなります。この大会は、今年7月18日から行われました市の中学校総合体育大会駅伝の部として行われる大会でございます。大会実施要項を18ページ、19ページに掲載しております。日時は10月10日土曜日、荒天の場合、翌日11日日曜日に予定してございます。8時40分から開会式を行い、女子の部のスタートが9時20分、男子の部は10時30分にスタートいたします。会場及びコースは船橋市運動公園陸上競技場及び公園内周回コースで行います。男子が6区間18.6キロメートル、女子が5区間11.9キロメートルで競技が行われます。なお男女とも上位4校が市の代表として県大会に出場します。

県大会は11月1日日曜日に県立柏の葉公園総合競技場で行われます。なお昨年度は旭中学校が3位、海神中学校が6位に入賞し、3位の旭中学校は関東大会に出場しております。この大会までは3年生が参加できます。どうぞ応援よろしく願いいたします。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

**【石坂委員】**

先日この中学校総体の結果の詳細な一覧をお送りくださりましてありがとうございました。今年も市の大会から今回全国大会までたくさんの子供たちが、それぞれ輝けたと思います。関係の先生方や皆様も大変だったと思いますけれども、ご苦労さまでございました。また、駅伝大会楽しみにしております。よろしく願いいたします。

**【委員長】**

そのほか何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいですか。

続きまして、報告事項（８）及び報告事項（９）について、総合教育センター、報告をお願いいたします。

**【総合教育センター所長】**

それでは、総合教育センターのほうから２点報告させていただきます。

資料３３ページ、報告事項（８）の「夏季休業中の研修の実施報告」について説明いたします。まず悉皆研修として３７講座を実施しまして受講者数は延べ２，１６９名でした。１１６名の初任者を対象とした初任者研修、延べ９回開催するなど、受講生の力量を高め指導力向上に役立つ研修を実施いたしました。次に２番の希望研修ですが、３９講座を実施しまして受講者数は延べ１，４１１名でした。各研修ともテーマに沿った充実した研修が行われました。受講生の抱える課題解決に生かされるものと考えております。

現在、受講アンケートの集計を行っております。内容を吟味いたしまして来年度の研修のあり方について生かしてまいりたいと思います。

続きまして、資料３５ページ、報告事項（９）の「算数・数学チャレンジふなばしについて」説明させていただきます。本事業は、理数離れが叫ばれている中、算数・数学が大好きな子供たちをたくさん育て、考える力や表現する力を伸ばすことを目的にしております。本年度で第４回を迎えました。５月上旬、各学校へ募集要項を配布したところ、各学校で該当学年の学級数プラス１名の定数を基準に校内選考を行い、全ての小学校・中学校から応募がありました。当日は学校代表として小学校６年生が１９１名、中学校３年生が１００名の合計２９１名が、８月１日に本センターを会場としたファーストチャレンジの筆答審査に参加しました。

その審査の結果ですが、最終的にファイナルチャレンジへ進出する児童・生徒５７名

を選びました。ファイナルチャレンジは8月22日に行いました。まず全員が筆答審査に臨んだ後、小学生の部では9名、中学生の部では10名の成績上位者が選出されました。ここで問題の解き方について、審査員全員が一堂に会する会場で教材提示装置を使って発表を行いました。このプレゼンテーションの内容についても評価を行い、各賞の最終決定をいたしました。

審査結果については資料のとおりでございます。

今後の課題といたしましては、自分の考えをわかりやすく説明できるような表現力を高める手立てを行っていくことが必要と考えております。

以上で総合教育センターからの報告事項を終わります。

よろしく願いいたします。

#### 【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

#### 【鎌田委員】

報告事項(8)の夏休み中の研修の話ですけれども、先ほどの地域との連携のプログラムが少ないとか復習の時間がということは、教科というより生徒指導に入るのか課題対応に入るのかわかりませんが、そうした船橋がふるさと教育に力を入れていこう、復習にも力を入れていこう、そうした指導の研修のあり方や要素など、それぞれの教科の中にそういうことも含められるし、また、別建てで新たに起こすということも考えられると思うのですけれども、その辺いかがでしょうか。

#### 【総合教育センター所長】

初任者研修のところで実際に市内巡見という項目があります。市外出身者の初任者もたくさんおりますので、その初任者を連れて例えば船橋大神宮に行って歴史的なものを学ぶとか、まず教員が船橋を知って、それをもとに教育してもらおうようなプログラムを行っております。

そのほか同じく初任者研修の中で、評価の仕方や学習の進め方など、基礎・基本をしっかり身につけさせるような教育技術を身に付ける研修も入れております。

#### 【鎌田委員】

今、補足説明をしていただいたようなこと、例えば船橋でそういうふるさと教育に力を入れようということを行えば、こういう実施報告書の中でも、せつかくやっておられることがわかるようにしておいたほうが、どなたが見ても見える化というか確認ができるのでよいと思いました。

**【教育長】**

でも、難しいですね、研修の中に1つ何かを入れるというのは。  
各学校において、どういう場面で何ができるかということを考えていったほうが良いような気がします。

**【委員長】**

そのほか何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

**【石坂委員】**

希望研修の中で結構人気のありましたキャリアアップ社会教育施設体験、これはどんな内容だったのでしょうか。

**【総合教育センター所長】**

キャリアアップ研修につきましては、社会教育施設において実際に1日業務を体験して、社会人の視野を広げ、それを今後の教育活動に生かすというような形で、例えば図書館に行って読み聞かせをするといったこと内容を行っております。  
以上でございます。

**【委員長】**

よろしいですか。  
それでは、続きまして、報告事項（10）から報告事項（12）までについて、文化課、報告をお願いいたします。

**【文化課長】**

それでは、資料本冊の37ページから41ページ、3項目の報告を行わせていただきます。

芸術の秋を迎えることから、各文化芸術団体や各経営団体のご協力を得まして資料のとおり、これからイベントを開催してまいります。

まず37ページ、「第38回船橋市いけばな展」でございます。こちらは早速9月29日火曜日から10月4日日曜日に開催することになっております。今回は前期が114名、それから後期が124名の参加者がございました。昨年224名から14名参加人数がふえております。その中で大変うれしいのは小学校・中学校のお子さんも参加してくださっております。今回は行田中学校から5名、千葉日本大学第一中学校から7名、海神中学校から2名、金杉小学校から4名と、こちらのほうはそれぞれ流派は違うのですが、華道連盟に加入してくださっている先生方が指導に行ってくださいっております。

す。

こちらの学生さんたちは後期の10月2日から10月4日までの間に出展を予定しておりますので、ぜひお時間がありましたらギャラリーのほうへお越しいただければと思います。

こういう指導につきましては華道は華道連盟、それから茶道も子ども茶道教室・華道教室、ギャラリーでやっておりますが、茶道連盟と文化芸術団体のご協力を得ながら開催しておりますのでございます。

次に、39ページの報告事項(11)、「第53回船橋市美術展覧会 市展」の募集でございます。こちらは10月1日から募集がいよいよ始まることとなります。こちらは昨年は558点の出品がございました。実は大変出品数多くて、中には自分の展示をされた場所にご不満のあった方とか、本当にそれぐらいスペースが足りないぐらいの出展数がありました。

2段組みにしていたら、なぜ自分のは下になったのかというような、本当にそれぐらい出展数が多い、うれしい悲鳴というところでございますが、せっかく出してくださった皆様満足できるような市展にしたいということで、10月1日から募集をいよいよスタートしていきます。

今年度も多数の応募作品をお待ちしたいと考えております。

最後に、41ページ、報告事項(12)でございます。こちらは昨年からは始まりましたふなばしミュージックストリート、第2回目となります。今年度は10月11日の日曜日、10時から17時、船橋駅周辺の15カ所を会場といたします。昨年度は12カ所で行ったので3カ所今年度はふやすことができました。現状は9月13日に出演団体を集めての説明会、それから今後9月27日日曜日にはボランティアの説明会ということで、市民ボランティアを中心に今着々と準備を進めているところでございます。昨年は238団体の応募があった中、今年度は188団体から111団体に絞られたところでございます。ボランティアにつきましては現在118人の市民の方の登録を得ております。

多分10月11日には昨年と同様、それ以上にボランティアの方が集まってくるのではないかと期待しております。こちらボランティアの中には、小学生から去年は80歳を超える方まで、世代を超えた方が一緒に同じTシャツを着て活動している、それから今年は親子でボランティアに参加しているお子さんとお母さんもいらっしゃいますので、先ほどから話題になっておりますが、これも地域の活動の中に1つ含まれていけば、親子で参加していただければ、まちの事業に参加して自分の船橋を感じてくださることができたらいいなというふう感じて、聞いておりましたが、ボランティアも着々と募集が進んでいるところでございます。

ぜひ委員の皆様には、お忙しいかと思いますが、それぞれの事業にお運びいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

**【鎌田委員】**

第2回というところで、いろいろ定着して行って、一部、騒音のクレームだったり、そういう大変な部分もあると思うのですけれども、できるだけ丁寧にご理解いただかないかなと思うのですが、せっかくこういうようなことがあって、文化課というか教育委員会として定着していくのと、もう1つはこういうものがまち全体の活性化と言いますか、船橋市全体の活性化に向けて、商店会とか佐藤委員の専門分野かもしれませんが、商工会との連携とか、そういうようなところを、まち全体に船橋を知っていただくいい機会と捉えて、いろいろな部署等と連携をとっていけば船橋の発展に寄与するかと思えます。

**【委員長】**

ありがとうございました。

そのほか何かご意見、ご質問ございますか。

よろしいですか。

それでは、続きまして、報告事項（13）及び報告事項（14）について、生涯スポーツ課、報告をお願いいたします。

**【生涯スポーツ課長】**

報告事項（13）、「平成27年度学校プール開放事業 実施状況」についてご報告いたします。資料は本冊の45ページ、46ページとなります。

今年度も小学生以上を対象といたしました学校プール開放事業を、小学校23校と特別支援学校高根台校舎の計24校で実施いたしました。詳細につきましては資料のとおりでございますけれども、46ページ中ほどにございますように実施方法は、各学校を7月27日から31日、8月3日から8月7日、8月10日から8月14日と、3期に分けて、それぞれの学校で5日間プール開放を行い、利用者数は全体で1万3,748人ございました。また、このプール開放にあわせて泳ぎの苦手な小学生を対象にちびっこスイミング教室を、前原小学校、特別支援学校、七林小学校の3校で行い、367人の参加がございました。

いずれの事業とも事故もなく無事終了することができましたのでご報告いたします。

続きまして、報告事項（14）、「2015 スポーツの祭典」についてご説明いた

します。資料47ページをご覧ください。スポーツを通して市民の健康増進、体力づくりを図る目的で、船橋市スポーツと健康を推進する会と船橋市スポーツ推進委員協議会で組織いたします実行委員会が、2015スポーツの祭典を10月4日日曜日に運動公園で開催いたします。陸上競技場をメイン会場に、体育館、野球場、テニス場などで「ワイワイまつり」といたしまして各種の催し物を行ってまいります。

また、「市民一斉歩こうDay」といたしまして、ウォーキングは東船橋駅と新京成線北習志野駅から、また、ウォークラリーは船橋駅と三咲駅から、それぞれスタートしまして運動公園を目指す、このようなイベントも行ってまいります。

説明は以上でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいですか。

続きまして、報告事項（15）、その他で、何か報告したいことがある方は報告をお願いいたします。

石坂委員。

#### 【石坂委員】

報告ではありませんが、今年は夏休み中に、公民館に自習スペースをつくられましたけれども、その利用の状況を教えてください。

#### 【社会教育課長】

利用した方、来なかった方、学校にもアンケートをして、それを今集計しているところです。今現在のものとしましては、来られた方は熱心に自習をしていました。当初は利用者の小・中学生、高校生が騒いだりするのではということで、指導員の方を配置しましたが、そういう問題があったという報告は受けておりません。

アンケートを見るとおおむね良好で、次回以降も続けてもらいたいという意見が多かったです。あと、いろいろな異年代の、多世代の小・中・高校生と一緒に、そこで問題があるのではないかということを懸念してアンケートを行ったところ、そこは全然気にならなかったという意見が、今現在のところでは出ております。

以上です。

#### 【生涯学習部長】

おおむね多かった年齢は小学校の高学年と中学生です。小学校低学年と高校生は少なかったということです。人数の表は後でお手元に配付させていただきます。



分析は精査中です。

**【委員長】**

そのほか何かその他で報告するようなことはないですか。

よろしいですか。

それでは、続きまして、議案第41号の審議に入りますので、関係職員以外の方は退席、お願いいたします。

(関係外職員 退席)

**【委員長】**

それでは、議案第41号について、教育総務課、説明をお願いいたします。

議案第41号「平成27年度船橋市教育功労表彰について」は、教育総務課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

**【委員長】**

続きまして、委員長選挙及び委員長職務代理者の指定に入りますので、関係職員以外の方は退席をお願いします。

(関係外職員 退席)

**【委員長】**

それでは、委員長選挙及び委員長職務代理者の指定を行います。

委員長選挙及び委員長職務代理者の指定が行われ、委員長に鎌田元弘委員が、委員長職務代理者に佐藤秀樹委員がそれぞれ決定した。

**【委員長】**

それでは、職員を入場させてください。

(関係外職員 着席)

**【委員長】**

ただいま教育委員会の委員長の選挙及び委員長職務代理者の指定を行いました。

次期委員長には鎌田委員、次期委員長職務代理者には佐藤委員が決定しましたのでご

報告いたします。

それでは、次期委員長と次期委員長職務代理者に、それぞれご挨拶をお願いいたします。

最初に鎌田委員、お願いします。

#### 【鎌田委員】

改めまして次期委員長に推薦いただき務めさせていただくことになりました鎌田でございます。よろしくお願いいたします。

これまでほぼ2年間、山本先生のご先導のもといろいろなことを学ばせていただき、いろいろなところで体験をさせていただき、また、昨年度は一緒に会津のほうで研修をさせていただきました。

山本先生にいろいろと教えていただいたことを大変な宝だと思っております。特に教育委員は何たるものかということ全くわからずに入ってきた中で、本当に手とり足とり、温かくご指導いただけたことに大変感謝しております。

ちょうど新しい教育委員会制度を定着させるというようなときで、大変重要なときだと気を引き締めておりますが、松本教育長を支えながらしっかり頑張っていけたらと思います。

あわせて佐藤委員に職務代理としてサポートをしていただけたというところで、私はいろいろなところで、ぼんと抜けてしまうことがございますので、ぜひそこは厳しく見ていただいてアドバイスをいただければと思います。

また、石坂委員とは、今度、山本先生の後任の委員の方と一緒に、この新しい教育委員会制度の定着に向けて、船橋市の教育のために汗をかきたいなというふうに思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

#### 【委員長】

それでは、佐藤委員、お願いします。

#### 【佐藤委員】

委員長職務代理者を仰せつかりました佐藤です。この職務代理者という言葉、余り聞きなれていなかったのですが、自分が受けてみると、また重みというものも少し変わってくるのかなという気がします。

先ほど鎌田新委員長がおっしゃってございましたけれども、新教育委員会というものの、法改正で新しい形になる直前の委員会ということになるのかなと思います。

そういう意味では随分議会も注目しているようですので、私たちがここで本当にいろいろな話をしながら物事を決めていく過程というものを、委員長と各委員の皆さんと一

緒にいろいろ話し合いながら、サポートし合いながら、時にはぶつかることもあるかもしれませんが、いろいろな形で前に向かって会議が進められるように努力したいと思えますし、船橋全体の教育というものを、みんなで考えられるようにしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

#### 【委員長】

ここでご報告させていただきます。私は平成19年10月15日から2期にわたり教育委員会委員として務めさせていただきましたが、任期満了により10月14日をもちまして退任することになります。この9月定例会が、私が出席する最後の定例会となりますのでご挨拶させていただきます。

改めましてご挨拶させていただきます。8年間本当に長いようで、あっという間に過ぎたなというふうに感じております。一言で言えば感謝の言葉しかございませんけれども、今日もまたいろいろな過激な意見をほえてしまったのですけれども、前教育委員の方も含めて現教育委員、それから教育委員会の幹部の職員の方々、本当にフォローしていただきまして、どうにかつつがなく終わることができるというふうに思っております。

漠然としたことしか考えていなかったものが、本当に具体的に考えるようになって、私自身も非常に勉強になりました。ただ、それはそれとして、以前の教育委員の方も含めて現教育委員、それから幹部職員の皆様と知り合いになれた、それから退職校長も含めた校長先生や一般の教員と知り合いになれたということは、これからの私の宝になると思っております。

ありがとうございます。

それから最後になりますが、教育総務課の職員の方には本当にお世話になりました。本当に気持ちよく仕事をさせていただきました。心から感謝申し上げます。

鎌田委員もおっしゃいましたけれども、教育委員会制度自身がいろいろな存続も含めて問われておりますけれども、どうか一件落着のような感じのところもありますけれども、気を引き締めていただき、船橋市の教育のためにもぜひ教育委員会制度を、発展させていただきたいというふうに思っております。

ありがとうございました。（拍手）

それでは、本日本日予定していました議案等の審議は終了いたしました。

これで、教育委員会会議9月定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午前11時53分閉会